

授業科目名	基礎看護技術演習 (2300303)		
時間割名	基礎看護技術演習 (43206)		
時間割担当	吉村雅世		
実施期	前期	単位数	2 必修
曜日・時限	木・3～4		

授業の目標・概要

人間の健康レベルの低下に伴い、自立した日常生活が困難となった人々に対する日常生活の援助技術（清潔への援助、活動・運動への援助、食生活への援助、排泄の援助など）について修得する。実践にあたっては、科学的根拠に基づいた技術の展開ができる力を養う。

学習の到達目標

看護を必要とする人々への日常生活の援助に関する、原理・原則に準拠した基本的な知識と技術を習得する。
看護技術とは、援助を必要とする人々と看護者の相互作用の中で行われるものであることをみずからの体験をとおして理解できる。

授業方法・形式

講義・演習

授業計画

- 第1回 講義：ガイダンス
- 第2回 講義：チーム医療における看護師の役割と看護技術とは
- 第3回 講義：看護における生活とは、日常生活の援助技術とは
- 第4回 講義：活動・運動を支援する技術
- 第5回 講義：活動・運動を支援する技術
- 第6回 演習：移動・移送・輸送
- 第7回 演習：移動・移送・輸送
- 第8回 技術修得チェック
- 第9回 講義：休息と睡眠を促す援助
- 第10回 講義：身体の清潔
- 第11回 講義：身体の清潔
- 第12回 演習：身体の清潔の援助 清拭
- 第13回 演習：身体の清潔の援助 清拭
- 第14回 演習：寝衣の交換・足浴
- 第15回 演習：寝衣の交換・足浴
- 第16回 演習：身体の清潔の援助 洗髪
- 第17回 演習：身体の清潔の援助 洗髪
- 第18回 技術修得チェック
- 第19回 技術修得チェック
- 第20回 講義：栄養と食事
- 第21回 講義：栄養と食事
- 第22回 講義：栄養と食事援助
- 第23回 演習：栄養と食事の援助と口腔ケア
- 第24回 演習：栄養と食事の援助と口腔ケア
- 第25回 講義：排泄を促す援助
- 第26回 講義：排泄を促す援助
- 第27回 演習：尿器・便器・おむつを使用した排泄の援助と陰部洗浄
- 第28回 演習：尿器・便器・おむつを使用した排泄の援助と陰部洗浄
- 第29回 技術修得チェック
- 第30回 技術修得チェック

成績評価の基準

定期試験（筆記・実技試験）50%，課題レポート30%，学習態度（取り組みの積極性・グループワークへの参加度）20%

授業時間外の課題

技術とは知識、技能、態度の3つから構成されると言われ、この3つを統合していくことは大変重要です。また各単元は、密接に関連しており、学習の積み重ねが到達度を高めることとなりますので、欠席しないで、積極的に、かつ自主的に自己学習を反復、発展させ学習に取り組んでください。

メッセージ

講義時間内にお伝えします。

教材・教科書

テキスト

1. 茂野香おる系統看護学講座
2. 基礎看護技術 ， ，第15版，医学書院，2013.
3. 坂本史衣：基礎から学ぶ医療関連感染対策，改訂第2版，南江堂，2012.
4. 小野田千枝子監修，高橋照子，芳賀佐和子編集：実践!フィジカル・アセスメント 看護者としての基礎技術，第3版，金原出版，2008.

参考書

参考書

1. 吉田みつ子他：写真でわかる基礎看護技術，インターメディカ，2012.
 2. 香春知永他：基礎看護技術 看護過程のなかで技術を理解する，南江堂，2011.
- その他，授業中に紹介する。